

## 事務改善分科会 感想

宮古市 Aさん

九戸支部の発表は文書のPDF化を用いた文書管理についてでした。受け付けた文書をPDF化し、エクセルで作成した文書処理簿とそれをリンクさせ、処理簿の件名等をクリックすると探している文書を開くことができるシステムについて説明していただきました。紙媒体のみで届く文書などを探してしまうことがあるため、もし自分の学校でもスキャナ等のパソコン環境が整うならば試してみたいと思います。そのシステムは事務職員以外でも文書の検索・閲覧が短時間で行うことができるそうで、宮古市内の共同実施で行われている「ふみメール」と似ているところもあり、もっと、校内の職員へも説明し、使ってもらえるようにするべきだったなと反省しました。『文書探しは事務の仕事』が当たり前という自分の思い込みも良くなかったです。

また、後半は分科会を3つのグループに分け、ワークショップ形式で、いくつかのテーマから題材を選び、討議を行いました。自分が所属したグループは文書処理について話し合いましたが、役職や経験年数が違っても、「いかに文書に時間をかけず処理するか」ということは、いつでも大事なことで、悩んでいるのは自分だけではないとわかりとても安心しました。そして、年度始めに文書処理の流れを確認する、文書に担当者を明記してもらう、処理前の文書の置き場を決めて置くなど、わかっているでもできずにいることがやはり処理の効率を上げるには必要なことであると教えていただきました。ワークショップ形式に慣れていないこともあり最初は不安でしたが、同じグループの方々が話しやすい雰囲気を作ってくださり、あまり構えずに参加することができました。

本当にありがとうございます。とても勉強になる分科会でした。

## 事務改善分科会 感想

宮古市 Bさん

始めに「文書のPDF化を用いた文書管理について」と題してH町S小の事例発表を聴きました。メール等にて発信される文書を紙媒体管理からPDFを利用し電子化にすることで、管理のしやすさ、スリム化を図っている。特に職員が文書を共有できることは、パソコン等の整備状況によるが、是非活用できるように働きかけをしたいと思います。

次にワークショップ形式でのグループ討議を行いました。文書管理のことでの問題を提起し、解決策について意見を出し合ったところ、他の事務職員も同じような思いであると感じました。設備の充実はもとより、職員の共通理解が大切で、先生方にも意識してもらい話しやすい職場を作れると、更なる事務改善につながると感じました。

今後の実務の参考になるお話が聴けてとても良かったです。